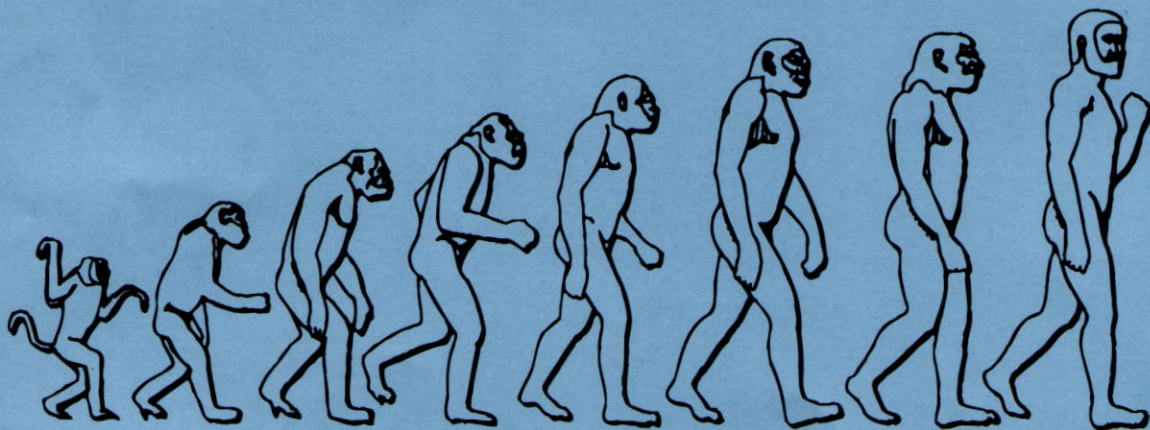


NHK四国

旧友会だより



2020



令和2年12月発行

会長あいさつ

四国旧友会長 橋本 祥一

新型コロナウイルス感染で世界中が混乱し、現在も不安と緊張が続いた状態で2020年の1年を見送る季節となりました。

四国旧友会の会員の皆様、この1年いかがお過ごしでしたでしょうか。

四国旧友会も6月に総会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため延期を余儀なくされました。しかし、その後も新型コロナウイルス感染の勢いは衰えることもなく、延期した四国旧友会総会の秋開催も中止せざるを得ない状況となりました。

毎年、会員の皆様との再会と親睦を楽しみにしていただけに今年の中止は旧友会の歴史に大きな1ページを残すこととなりました。

とても残念なことです。

きつと皆様は、3蜜を避けた自粛生活の1年間に加え、感染リスクを小さくするための新しい生活スタイルや新しい働き方などへの転換のスピードの速さに気疲れされているのではないかと思います。

とりわけ新型コロナウイルス感染拡大は、人間同士のコミュニケーションのあり方とその距離感に大きく影響しました。テレワークやキャッシュレス決済また宅食サービス、さらに、

私たちの暮らしにかかわる申請・報告・予約・購入・支払いなど多岐にわたり「デジタル化」「IT活用」など情報通信インフラの進化スピードもこれまで以上に速くなってきているようです。効率的で便利で速いという「電子化」の進歩を享受することも多くなりました。この流れから取り残されないように忙しく頭を使う生活が日常化してきています。どうか皆様の柔軟な適応力で乗り切っていただきたいと願うばかりです。

私事ですが、私も今年から日常の買い物などはスマホアプリを利用した電子決済を活用しています。今ではその便利さから現金の代わりにスマホの携帯が欠かせられなくなっています。

先日「人生で一番幸せな時期はいつか」ということを調べていますと、過去のイギリスのある調査結果から「50代以上のイギリス人の5人に一人が新しい言語を習うために旅行を計画している。10人に一人が楽器を習うことに興味がある」という結果を読み、熟年世代の元気な姿が伝わってきました。しかし、調査というものの多くは過去の結果です。いつも今日からがスタートだと思っています。

早く新型コロナウイルス感染収束の日が来て、イギリスの熟年世代のように再び元気で興味と楽しみが広がる平穏な日々が戻って来ることを信じて、これからも四国旧友会の会員一人ひとりが後悔しない人生を歩まれることを願ってやみません。